



あかしや通信

令和7年10月28日
京都市立朱雀第四小学校
校長 岡西 容美
時事

平素は、本校あかしや教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。7月に実施いたしました「第1回学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～」の結果についてお知らせします。今回の結果から見えてきた成果や課題については、全職員で共通理解し、良い部分は伸ばし、課題については改善していきたいと考えております。保護者の皆様には、引き続き本校あかしや教育にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

学校評価アンケート～子どもたちの育ちを支える学校アンケート～とは…

子どもたちの健やかな育成を目指し、学校教育活動・家庭・地域活動を通して、それぞれの立場から自らを振り返るものとして京都市で進められてきており、児童、保護者、教職員とで年に2回実施しています。今年度から、より自らを振り返ることができるようアンケート項目を検討し、変更しました。「教職員は自らの教育活動や指導を振り返る」「保護者は自らの家庭教育を振り返る」「子どもたちは、自らの学習や活動に向かう学びの姿勢を振り返る」ことを通じて、お互いに高め合い、子どものよりよい成長につなげていけるようにと考えて取組を進めています。

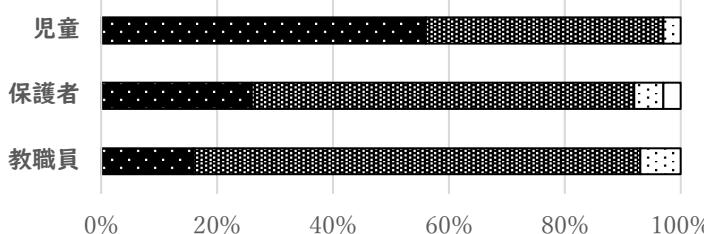
よくできている だいたいできている あまりできていない できていない
【確かな学力】

児童：「めあて」にそって学習し、自分の考えを書いている。

保護者：わが子は学習に対して、最後まで粘り強く取り組もうとしている。

教職員：子どもが主体的に学習できるように、単元計画や支援の工夫をしている。

主体的に学習に向かう姿

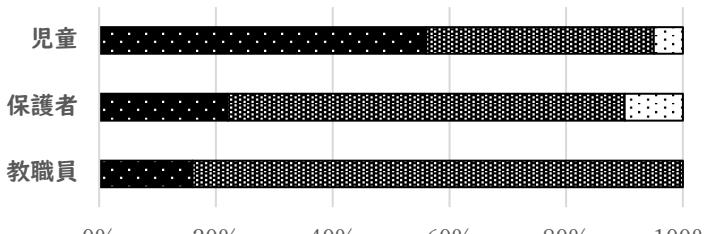


児童：友達の話をしっかりと聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしている。

保護者：わが子に相手の話をしっかりと聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりするよう働きかけている。

教職員：学習の中で、自分の思いや考えを相手に伝えられるよう授業を工夫している。

話を聞く、考えを伝える姿

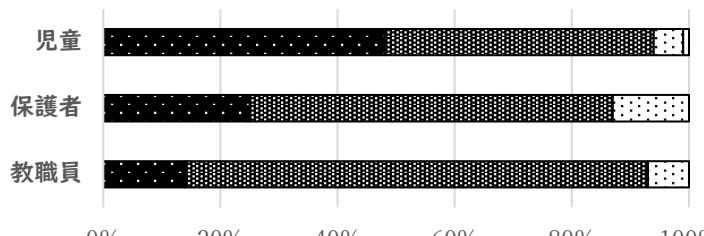


児童：学習や学校生活の中で、よりよい自分になるために考えて行動している。

保護者：家庭では、自分でできることは自分でするよう働きかけている。

教職員：子どもが学校生活の中で、自ら考えて行動できるよう工夫や支援をしている。

自分から行動する姿



児童：宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。

保護者：わが子は宿題や自主学習など進んで家庭学習に取り組んでいる。

教職員：子どもに家庭学習の習慣がつくように、宿題や自主学習の内容や取り組み方を工夫している。

児童：学校や家で進んで読書をしている。

保護者：家庭では、わが子が本に親しむことができるよう働きかけている。

教職員：子どもに読書の習慣がつくように、読書ノートの活用をするなど働きかけを行っている。

【豊かな心】

児童：自分からすすんで気持ちのよいあいさつをしている。

保護者：わが子は自分から進んであいさつをしている。

教職員：子どもが自分から気持ちのよい挨拶ができるよう、自らも意識して挨拶をしている。

児童：友達の気持ちを考え、やさしく接している。

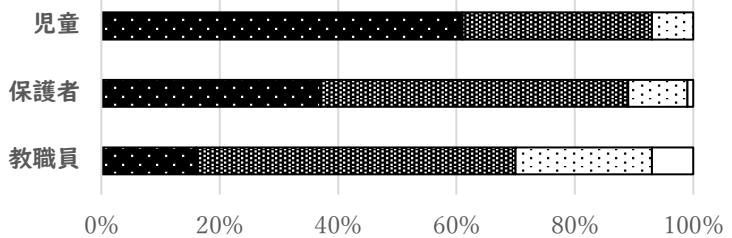
保護者：わが子は相手のことを思いやり、大切にしている。

教職員：自分も友達も大切にできるように、全教育活動を通して人権を意識した取組を行っている。

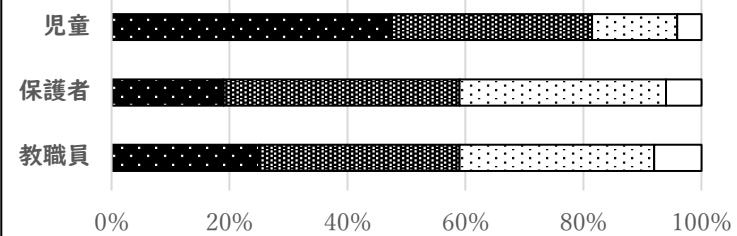
保護者：家庭では、わが子のよさを認め、伝えるようにしている。

教職員：発達支持的生徒指導に努め、子どものよさを認め、伝えるようにしている。

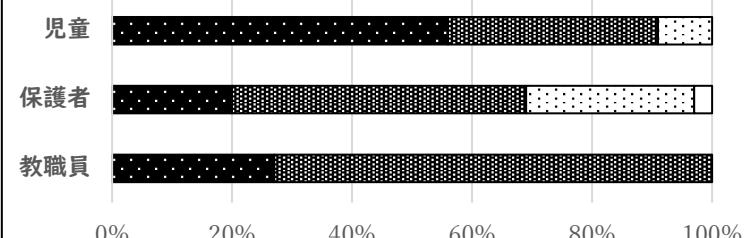
家庭学習に取り組む姿



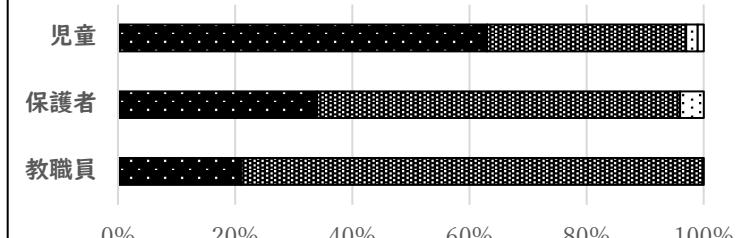
読書に取り組む姿



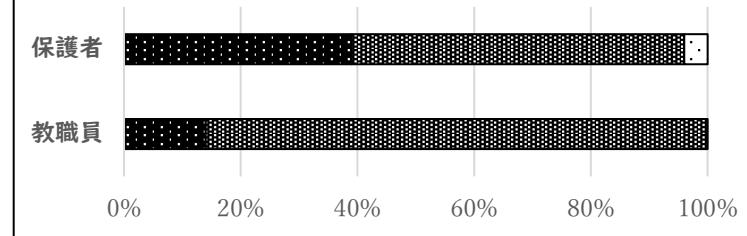
あいさつをする姿



友達を思いやる姿



よさを認め、伝えることについて



よくできている

だいたいできている

あまりできていない

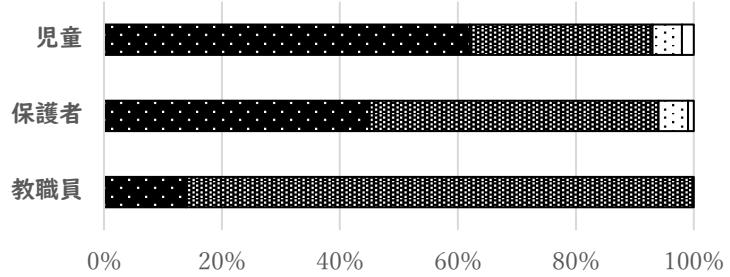
できていない

児童：毎日楽しく学校に通っている。

保護者：わが子は、毎日楽しく学校に通っている。

教職員：子どもが毎日楽しく学校に通えるように授業の工夫、生徒指導、人権教育の充実を心掛けている。

学校に楽しく通う姿

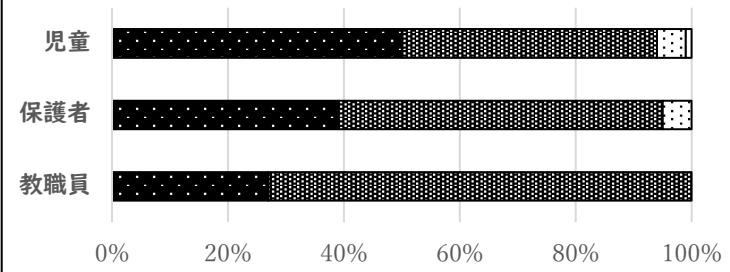


児童：学校や家でのルールを守って生活している。

保護者：家庭では、学校のきまりや家でのルールを守るよう働きかけている。

教職員：子どもが自分ごととして学校のルールを、守ることができるように指導している。

きまりやルールを守る姿

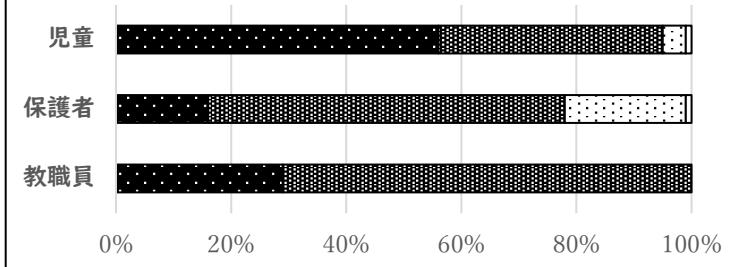


児童：話す相手や場面に合った話し方をしている。

保護者：家庭では、相手や場面に合った話し方ができるよう働きかけている。

教職員：子どもが、話す相手や場面に合った話し方ができるように意識して指導している。

話す相手や場面に合わせて話す姿



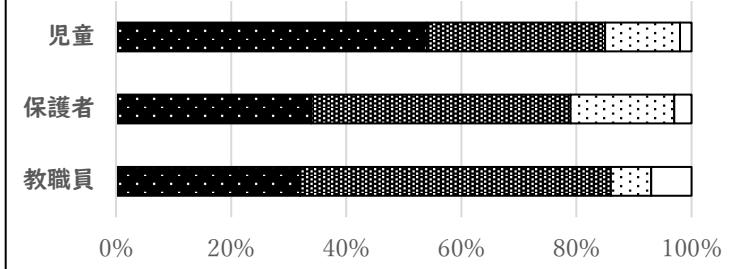
【健やかな体】

児童：「早寝・早起き・朝ごはん」に気をつけて生活している。

保護者：家庭では、早寝早起きなどの基本的な生活習慣を身につけられるよう働きかけている。

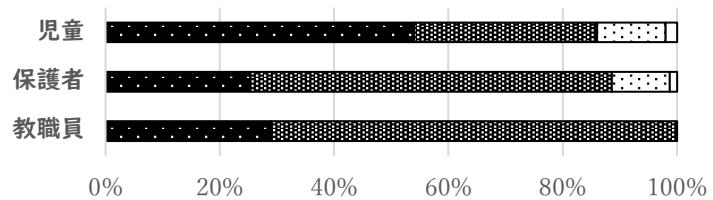
教職員：学級活動などを通して、早寝早起きなどの基本的な生活習慣の大切さについて指導している。

早寝早起きなど生活習慣が身についているか



児童：家人の人とスマホやゲームのルールを決めて、長時間使い過ぎないようにしている。
 保護者：家庭ではゲーム、スマホ等の使い方やルールについて話し合う機会を設けている。
 教職員：ゲームやスマホを使う際のルールや、長時間使用することの心身への影響などについて情報モラル教育等を通して指導している。

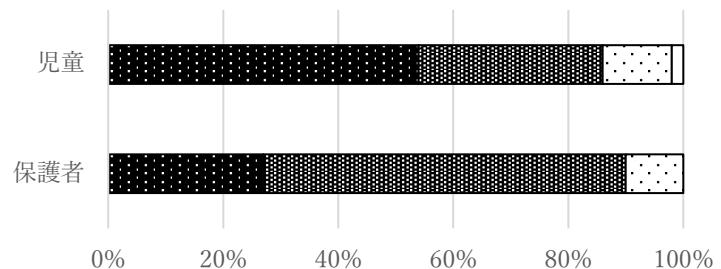
ゲーム・スマホとの付き合い方について



【いじめの防止について】

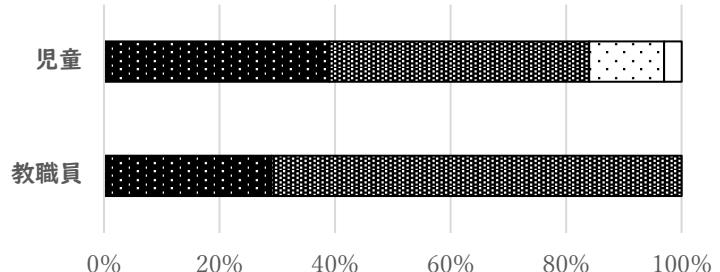
児童：家人の人とその日の出来事や学校でのことについて話をしている。
 教職員：家庭では、子どもと話す時間を大切にしている。

親子で話すことについて



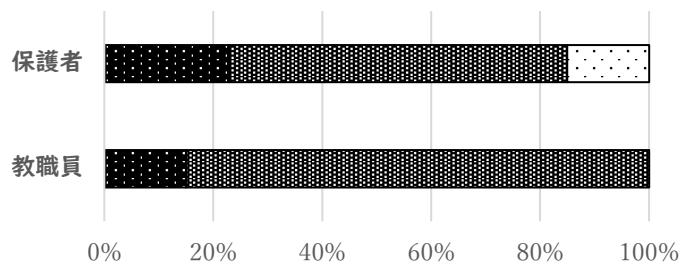
児童：先生にいろいろなことを話したり、相談したりしている。
 教職員：子ども一人一人の話を聞いたり、子どもが相談しやすい雰囲気をつくったりしている。

先生に相談したり、話したりすることについて



保護者：保護者と教職員との連携ができている。
 教職員：適宜、適切な方法で、教職員と保護者の連携ができている。

保護者と教職員の連携について



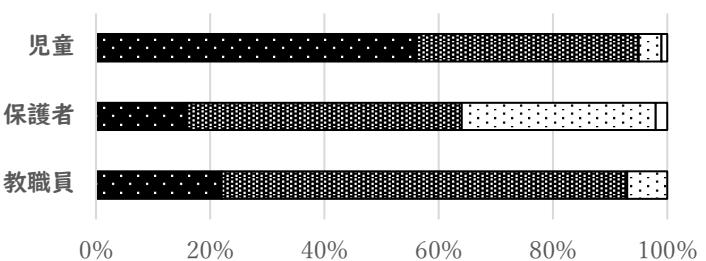
【学校独自の取組】

児童：環境にやさしい行動をしている。

保護者：家庭では、環境にやさしい生活を意識するよう働きかけている。

教職員：全教育活動を通して、子どもが環境にやさしい行動をとることができるように工夫している。

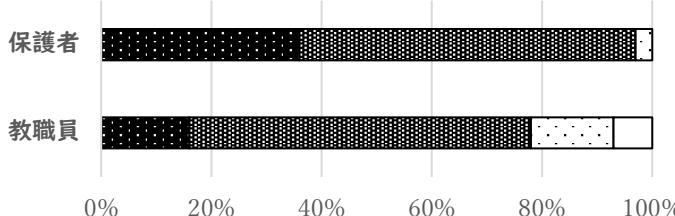
環境を大切にする姿



保護者：子どもの学習ノートや学校からのお便りなどで、学校でのわが子の様子を把握しようと心がけている。

教職員：学校からのお便りやホームページなどで学校の様子を発信している。

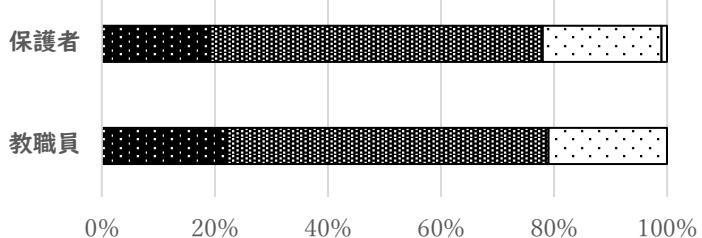
お便りなどで学校の様子を知る、知らせることについて



保護者：学校行事やPTA活動に参加するよう心がけている。

教職員：学校と保護者、地域との連携を大切にし、PTAや地域の方の活動等について把握しようと努めている。

PTA・地域との連携について



学校教育目標

自ら学ぶ朱四舎の子～豊かな心を育み、生きる力を育てる～

めざす子ども像

あ あいさつをする子 【自らあいさつができる子】

か かんがえる子 【あらゆる角度から、総合的に深く考える子】

し じぶんから行動する子 【課題解決に向けて主体的に活動する子】

や やさしい子 【人も自然も大切にできる子】

本校では上記の学校教育目標を掲げ、子どもたちの自己肯定感や自己効力感、自己有用感を高めていくよう学力向上、人権意識向上、生活向上等さまざまな角度から取組を進めています。

アンケートの結果から

あいさつの項目におきましては、児童アンケートでは約90%の子どもがよくできている・大体できているに回答していますが、保護者の方はよくできている・大体出来ていると回答された方は約69%にとどまっています。学校でも児童会活動で毎月13日に全校で「あいさつ運動」を行い、相手に伝わる声で、顔を見て、自分からあいさつできるようにと子どもたち同士「おはようございます」とあいさつしています。引き続きご家庭でもお声かけください。

「かんがえる子」については、「『めあて』に沿って学習し、『ふりかえり』で自分の考えたことや学習したことを書いている（自分の考えたことや学習したことを書いている）」の項目では約 97%、「友達の話をしっかりと聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしている」の項目でも約 95%の子どもがよくできる・だいたいできていると答えています。また、「学習や学校生活の中で、よりよい自分になるために考え方行動している」では約 94%の子どもがよくできる・だいたいできていると答えています。学習の中で、友達と考えを伝え合う「学び合い」の時間や振り返りを書くことで自分の学習したことや今後取り組みたいことを整理する時間をもつようにしています。今後も子ども自らが主体的に学ぶことができるよう学習指導を行っていきたいと考えております。

「毎日楽しく学校に通っている」の項目では約 93%の子どもも、約 94%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答されています。また、「保護者と教職員との連携ができている」の項目では約 85%の保護者の方がよくできている・だいたいできていると回答していただいている。本校では、子どもたちが「学校って楽しい！」と思えるよう、何ができるかを考えてさまざまな取組を行っています。その一つとして児童会活動では、今年度から異学年が交流する「たてわり活動」を始めました。子どもたちがいろいろな場面で、自分自身を振り返ったり、自分のことを考えたり、友達と教え合ったりして、よりよく毎日を過ごすことができるよう取組を進めています。全ての子どもたちが学校は楽しいと思える学校運営に努めていきたいと考えておりますが、そのためには学校と家庭との連携が不可欠です。気にかかることやご不明な点がございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。

また、「『早寝・早起き・朝ごはん』に気をつけて生活している」の項目では、約 15%の子どもがあまりできていない・できていないと答えています。また、「家の人とスマホやゲームのルールを決めて、長時間使いすぎないようにしている」では約 18%の子どもがあまりできていない・できていないと答えています。自分自身の身体のことにも目を向け、生活リズムについて、ゲームやスマホ、SNSとの付き合い方についても考えて生活できるよう、日々指導をしていきたいと考えております。

「友達の気持ちを考え、やさしく接している」の項目では約 97%、「話す相手や場面に合った話し方をしている」では約 95%の子どもがよくできている・だいたいできていると答えています。これからも、人権教育（ハートフル学習）を進めるとともに、学校でも人権学習、学級活動等、様々な機会で引き続き正しい人権感覚が身につくように指導を続けていきたいと思います。

学校評価アンケートをうけて、朱雀大路コミュニティ理事会で話し合いを行いました。

本校では、地域の方・保護者の方・学校教職員で組織された学校運営協議会を毎年行い、「どのような子どもを育んでいくか」「そのために何ができるか」を考え話し合っています。学校運営協議会のことを本校では「朱雀大路コミュニティ」と呼び、先日、理事会を行いました。学校評価アンケートをもとに、子どもたちについて話し合いました。そこでは、子どもたちが毎日楽しく学校に通うことについて「自分がいろいろな人から大切にされていると感じることが大事ではないか。そのためにも一人一人名前を呼び、目を見て話すなどできることがある」、「約 7%の子は楽しく通えていないと答えている。この 7%の子どもたちのことについても何ができるか考えていかないといけない」などの意見をいただきました。

なお、今年度もアンケートの自由記述欄に、学校の取組や清掃活動、更衣のことについてなど、ご意見をいただきました。それぞれのご意見を真摯に受け止め、今後のあかしや教育に活かしていきたいと考えております。